

教科目標

聞くこと

- ア. はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
 イ. はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。
 ウ. はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。

読むこと

- ア. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。
 イ. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
 ウ. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

話すこと やり取り

- ア. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
 イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
 ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

話すこと 発表

- ア. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
 イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
 ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

書くこと

- ア. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。
 イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
 ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

1 学期 主な学習内容 (48 時間)	2 学期 主な学習内容 (58 時間)	3 学期 主な学習内容 (34 時間)
○Starter ○Lesson1 Meet New Friends ○Lesson2 Fun with Books ○Lesson3 My Dream ○Project1 スピーチ「My Dream」 ○Reading Lesson1 The Tale of Peter Rabbit	○Lesson4 Safe Clean Water ○Lesson5 Visiting Australia ○Lesson6 Friends from Singapore ○Project2 人気のあるもの調査 ○Reading Lesson2 Online Experiences	○Lesson7 Gifts from China ○Lesson8 Rakugo Goes Overseas Project3 好きなもの×観光マップ ○Reading Lesson3 A Pot of Poison

評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率 100%で統一する。）

	評価の観点（1 学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	Lesson3 Scene1, Scene2 ・to 不定詞（名詞用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・to 不定詞（名詞用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・単元テスト ・小テスト ・ワークシート ・パフォーマンステスト ・言語活動への取組	・定期考査では、50 点の配点を基本とする。 ・QA テストや会話テストの中に、正しい文法で回答や会話ができているかななどを図る場面を設定する場合がある。 QA テストでは、その得点に準じて、A、B、C で評価する。 （QA テスト評価項目例） A＝尋ねられた質問に対して、適切な表現で回答することができる。 B＝尋ねられた質問に対して、誤りがあるものの、英語で回答することができる。 C＝自分が知っている英語で何かしらの回答をした。
II 思考・判断	Project1 (Lesson1～2 の内容) スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。	【全教科共通】 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・単元テスト ・小テスト ・パフォーマンステスト ・音読テスト ・言語活動への取組	パフォーマンステストの項目【Expression】は、達成度を点数化して評価する。 （スピーチテスト評価項目例） ☐ 理由やきっかけについて話している。 ☐ 聴衆を惹きつけるための文章表現が、発表中に使われている。 ☐ 様々な表現を使って、相手に情景が伝わるようにスピーチの原稿が練られている など ※その都度ルーブリック等を提示する。
III 主体的に学習に取り組む態度	Lesson3 Goal Activity 英語で書かれた記事を読んで、概要を理解するとともに、感じたことや考えたことを習った英語を使って伝えようとしている。 Project1 (Lesson1～2 の内容) スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。	【全教科共通】 ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 【各教科の方法・資料】 ・ワークシートの内容 ・パフォーマンステスト ・音読テスト ・音読・暗唱カード ・言語活動への取組	【全教科共通】 ・「知識及び技能」の観点の内容について、正しい文法表現を使って表現しようとする。粘り強く取り組み、知識や技能を習得しようとする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、自分の伝えたいことを様々な表現を用いて伝えようとする。学習や活動のゴールを達成するために、自己調整を通して取り組もうとする。 【各教科 独自の方法】 （Lesson3 Goal Activity 評価項目例） A＝自分が感じたことや考えたことを、本文中の文章を引用しながら、理由とともに伝えようとしている。 B＝自分が感じたことや考えたことを、簡単な語句を使って、理由とともに伝えようとしている。 C＝自分が感じたことや考えたことを、伝えようとしている。 など （Project1 スピーチテスト 評価項目例） ☐ 聴衆を惹きつけるジェスチャー ☐ 抑揚をつけて話している。 ☐ 聴衆とアイコンタクトを取りながら話している。 ☐ 5 文以上で話している。 など ※その都度ルーブリック等を提示する。